大橋川改修事業と中海護岸整備

斐伊川水系大橋川改修事業の実施に関しましては、平成13年6月12日に当時の鳥取・島根両県知事が交わした確認書に、鳥取県が同意する条件として、「中海護岸の整備」、「環境影響調査の実施と公表」、「本庄工区の堤防開削」という3つの条件が明記されておりました。

この3条件のうち、環境影響調査につきましては、国土交通省が本年2月に最終とりまとめを公表し、本庄工区の堤防開削につきましては、森山堤防の開削工事が本年5月に完了しております。

残る、中海護岸の整備につきまして、本年11月12日に開催された「中海護岸等整備促進協議会」で、国土交通省の最終方針について鳥取・島根両県及び中海沿岸5市町などが了承したことから、11月19日に、島根県から鳥取県に対して大橋川改修事業の実施同意に向けた協議の申入れがなされ、これを受けて同日、鳥取県知事から本市に意見照会があったところであります。

本市における中海護岸の要整備箇所に関して申し上げますと、渡漁港の護岸整備については、国土交通省、鳥取県及び地元との度重なる協議の末、国土交通省から漁港施設を中海側に移設する整備方針が示され、本年11月1日に開催された「渡地区治水対策協議会」で、地元了解が得られたところであります。

外江貯木場につきましては、貯木場管理者と調整中でありますが、国土交通省が最終的な責任をもって対応するとの回答を得ております。

また、境水道の護岸整備についても、先の中海護岸等整備促進協議会で示された湖岸堤整備箇所において、概略工程表の考えに沿って設定するとの前向きな回答があったところであります。

このような経緯から、斐伊川水系の最下流部に位置する本市といたしましては、市民の安心・安全が確保されるものとの考えに至ったところであり、特に出雲市・松江市では過去に幾多の浸水による災害が起こっておりますので、速やかに大橋川改修事業が着手されることを望むものであります。

そこで、このたびの鳥取県からの意見照会に対しては、渡漁港の整備をはじめとする本市からの要望書への、国土交通省から本年6月5日付けで回答された内容が誠実に守られるよう、あわせて、鳥取県からの積極的な支援が行われるよう、意見を付して同意する旨回答する考えを、11月30日の市議会全員協議会において表明したところであります。

平井知事に回答書を手渡す境港市長

その後、本市議会におかれては、中海問題調査特別委員会と全員協議会で種々議論を尽くされた結果、12月1日に市議会議長から、このたびの私の判断に対して、市議会としても了承する意向を伺いましたので、これを受けて12月5日、鳥取県知事に対し、5項目の意見を付して、大橋川改修事業の実施について同意する回答書を手渡したところであります。

米子空港滑走路延長事業

平成13年度から進められております、米子空港滑走路の2,500mへの延長事業につきましては、本体工事が完成し、12月17日にいよいよ供用開始されることとなっております。

米子空港駅前の周辺整備につきましても、県道をまたぐ歩道橋とエレベーターの設置工事が完成し、空港とJR境線の連絡がスムーズになり、利用者の利便性が一層高まったと考えております。

また、財ノ木踏切周辺の道路につきましては、鳥取県による拡幅工事が完成したほか、JR西日本による踏切工事も、来年3月には完成すると伺っております。

このほか、拡張工事が進められておりました空港ターミナルビルにつきましても、国内到着ロビーなどが拡張されたほか、飲食店や土産物店がリニューアルされ、12月16日に全面オープンすることとなっております。

新型インフルエンザ対策

感染が拡大する新型インフルエンザによる重症化を防ぐことを目的に、妊婦や基礎疾患を有する方など、国が定めた優先接種者を対象に、順次ワクチン接種が全国で行われています。

本市では、約1万8,800人の接種対象者を見込んでおりますが、先の臨時市議会において補正予算を議決いただいたとおり、このうち生活保護世帯や市民税非課税世帯の方には、国の方針どおり接種費用の全額を助成するとともに、新型インフルエンザが従来の季節性インフルエンザと比較して若年層に重症化する例が多いことに鑑(かんが)み、市独自の施策として、市民税課税世帯についても、妊婦と1歳から18歳までの方について、接種費用の負担を軽減することとし、いち早くワクチンを接種しやすい環境を整えたところであります。

本格的な流行シーズンに入り、これまでにも、予防対策としての「手洗い、うがい」の励行やマスクの着用、感染が疑われる際の早めの受診などを、市報や市の公式ホームページ、ポスター、チラシ、看板などで、積極的な啓発活動を展開しておりますが、今後も鳥取県や医療機関と密接に連携を図り、拡大防止に努めてまいります。

看板や消毒液を設置して新型インフルエンザ対策を呼びかける

可決された主な議案

■平成21年度一般会計の補正予算

《歳出の主な内容》

【人件費】

職員の給与や期末・勤勉手当等を人事院の勧告を踏まえ減額するとともに、市長、副市長、教育長および市議会議員について期末手当を減額するなど、給与、手当、報酬等を総額2,074万円余減額する一方、共済費については、負担率の改正等に伴い2,636万円余を増額

【総務費】

夕日ヶ丘分譲地の定期借地契約の締結に伴い、境港市土地開発公社等から用地を取得するための経費5,465万円余、全国瞬時警報システム整備事業として、対処に時間的余裕のない自然災害や弾道ミサイル攻撃等についての緊急情報を、国から住民に瞬時に伝達するシステムの整備費885万円余などをそれぞれ増額。

夕日ヶ丘の風景と音楽を楽しむコンサート

【民生費】

障害者自立支援給付費として、サービス単価の引き上げや利用者の増加に伴う訓練等給付費5,752万円余、外江児童クラブ施設として使用している旧わかまつ幼稚園舎の屋根や外壁などの改修経費1,525万円余、生活保護扶助費のうち入院医療費等の増加に伴う医療扶助費4,795万円などをそれぞれ増額。

【衛生費】

市営馬場崎墓地利用者の利便を図るため、墓地の隣接地に駐車場を整備する経費1,913万円余、住宅用太陽光発電システムを新たに設置する個人への助成金2,400万円などをそれぞれ増額。

中海護岸整備事業の一環として整備される渡漁港

【農林水産業費】

中海護岸整備事業の一環として取り組む「渡漁港改修事業」に必要な漁港区域の変更手続きに要する経費240万円余を増額。

【商工費】

NHKの朝の連続ドラマとして、来年3月29日から放送が開始される「ゲゲゲの女房」のパイロットフィルムに関連する経費134万円余を増額。

「ゲゲゲの女房」放送決定を喜ぶ鬼太郎と仲間たち

【土木費】

国の補正予算を活用して境港管理組合が実施する港湾整備事業に対する地元負担金268万円余を増額。

【教育費】

市内の小・中学校の教職員用パソコンを整備する経費739万円余、境港市民体育館でミニバスケットボールができるようバスケットボールリング設備を改造するための経費76万円余などをそれぞれ増額。

《歳入の主な内容》

歳出に伴う国・県支出金などを計上するほか、財源として繰越金を増額。

以上により歳入歳出それぞれ2億5,266万8千円を増額し、予算総額を154億2,408万円としました。

繰越明許費については、「庁舎耐震改修等事業」、「全国瞬時警報システム整備事業」、さらに各小学校の「耐震改修等事業」と「太陽光発電設置事業」について、その限度額を設定しました。

《債務負担行為》

リサイクルセンターおよび清掃センターで生じる残渣等の運搬委託、老人福祉センターおよび日曜休日応急診療所の平成22年度からの指定管理者の指定に伴う管理委託について、補正措置を行いました。

■平成21年度国民健康保険費特別会計の補正予算

退職被保険者等高額療養費などの増加により、歳入歳出それぞれ1,241万9千円を増額し、予算総額を39億8,696万9千円としました。

■平成21年度介護保険費特別会計の補正予算

平成20年度に概算払いを受けた国および県費の精算に伴う返還などにより、歳入歳出それぞれ1,585万6千円を増額し、予算総額を26億9,059万1千円としました。

■人権擁護委員松田榮子さんの任期満了により、新たに足立光枝さんを推薦することに

■境港市消防団員等公務災害補償条例の一部改正

消防法の改正に伴い、引用条文を改めました。

■境港市営住宅条例の一部改正

駐車場が設置された市営住宅について、使用料を1区画当たり月額千円とするなど、平成22年度から市営住宅駐車場を有料化しました。

駐車場が有料化される市営住宅